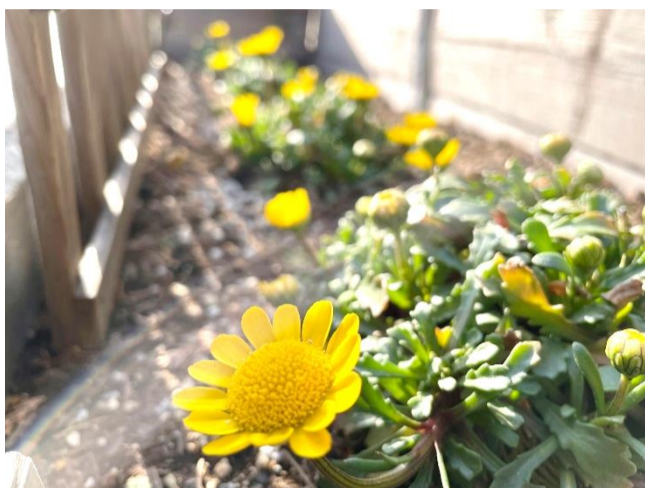


# ROYAL-TIMES

—ロイヤルホームの新しい生活—



写真= 4F庭園 クリサンセマム (2022年2月28日)

## 桜前線

小森 公美  
2022年 3月 14日

日本気象協会株式会社の発表によると今年の関東地方の開花は平年並みで、東京は3月23日頃の様子です。休眠打破も概ね平年並みの事でした。

休眠打破とは昨年の夏に形成された花芽が一旦休眠に入り、一定期間低温にさらされてから目覚める事で、その後の気温の上昇と共に花芽が成長して開花に至ります。冬暖かすぎると春先の気温が高くても開花が遅れたりするそうです。

新百合ヶ丘から柿生駅までの川沿いも250本もの桜が咲き誇ります。近年は中止となっていた麻生川桜まつりですが、今年は屋台等、無いものの柿生新橋から柿生大橋の間の桜並木を3月24日から4月7日の間ライトアップするそうです。寒い冬あればこそその桜が満開になる日が待ち遠しいです。



写真= 1Fのお雛様をみているご入居者様 (2022年 2月 21日)

## 雛人形の魅力

岡 聖史  
2022年 3月 16日

今年も桃の節句の時期となりました。雛人形を飾る時期は短いので、今年は2月の中旬に飾ることにしました。未だコロナウィルスによる影響で、ロイヤルホームにご入居されている方を一度にお呼びすることができないので、1階にいらした際に足を止めていただく形となりました。リハビリテーションや移動販売の帰りに足を止めていただくと、季節を感じられます。

「雛人形は段の数が多い方が豪華に見える」というのは確かですが、この頃は1~2段でも十分人気があるようです。特に、ご高齢の方や車椅子を使う方に見ていただくには、高い位置にお大様様とお雛様がいて、見えにくくなってしまいます。もちろん、ロイヤルホームでも、車椅子からでも見える位置に飾っています。

ある日、ご入居者様を雛壇の前にお連れしました。普段からあまりお話にならない方でしたので、私から

「綺麗ですね」、「もう3月になりますね」などと声をおかけしながら鑑賞していました。すると、ご入居者様が片手を前に出されました。私は手に撮りたいのだと思い、雛人形を近くにお持ちしました。すると、両手で人形を持ちながら、ゆっくりと頷かれています。普段はご自身から能動的に意思表示されませんが、雛人形には不思議な魅力があるのだなと感じました。そして数分眺めたのちに、私に人形を戻されました。

認知リハビリテーションの中に回想法というアプローチがあり、主に認知症を患った方に用いられます。古い記憶は比較的長く保たれるという特徴を生かし、昔を振り返りながらご自身を認識し精神的な安定を促します。雛人形を見ることは、季節を感じるだけにとどまらず認知リハビリテーションの一環としても十二分に活躍できます。

3月4日には早々に片付けられてしまいましたが、ご入居者様の思い出と共に、また来年飾られるのが楽しみです。



写真= 通常形態のおやつ みたらし餅 (2022年3月10日)

## 今月のトピック

#4階でもレクリエーション

#委員会活動報告(法人危機管理部)

#スタッフ紹介

#おしらせ (中易さんぽ)

## 4階でもレクリエーション

石井 太一  
2022年 3月 11日

このたび、ホームにおけるレクリエーションが全フロアで実施される事となりました。従来、中易が担当するレクは2Fと3Fのみで行われていましたが、3月より4Fも仲間入りです。

今回に至るまで、様々なご意見を多方面から頂き、ホームとしても全フロアで包摂的にレクリエーション時間を提供する事を課題としておりました。ご夫婦で入居されている方が多くいらっしゃるロイヤルホーム最上階においても、有意義で喜びを分かち合えるひと時を創出していきたいと強く感じ、実現につなげる事が出来ました。基本的な感染対策を徹底しながら、ご夫婦の垣根を越えて皆さんで楽しんでいきましょう。

4Fのレクリエーションは、お腹も満たされたアフターランチの13時30分に実施しております。一堂に大勢集まる事が難しくなったコロナ禍以降、4Fのご入居者様と中易が顔を合わせる機会は、著しく減少しました。その為、まずは自己紹介からさせて頂きました。他フロアと同様に、中易が4Fに来たら「レクが始まる！」と思って頂ければ幸いに存じます。皆様と心を通わせたい気持ちに溢れ、中易も少々緊張気味ですが、4Fご入居者様にも充分レクを楽しんでもらえる様、「レクリエーションの柱」を掲げました。\*柱1は「懐かしさ」です。中易が得意とするウクレレ演奏は、皆様を「あの頃」へといざないます。子どもの頃に歌った童謡や唱歌、はたまた懐かしのメロディを奏できれば、きっと皆様は「あの時あの頃」がよみがえるのではないかと思います。懐かしさの中にイノベーションを見つけてみてはいかがでしょうか。「港の見える丘」等の演奏を聴かれたご入居者様から「お酒を飲みながら聴きたいね」と仰って頂いた一コマもございました。\*柱2は「育てる」です。昨今人気を呼んでいる苔テラリウムです。光が通るガラス容器でコケを思い思いのレイアウトで栽培していきます。\*柱3は「笑う」です。詳しくは今後の中易からのリリースをお待ち下さい。

地球上で様々な感染・災害といったテラーが潜む現代、皆様一人一人が笑顔を絶やさない事で「デライト・ミライ」を皆さんと一緒に創っていきましょう！



写真=ウクレレ唄の様子 (2022年 3月 10日)



写真=ウクレレ唄の様子 (2022年 3月 10日)

## スタッフ紹介

2022年 3月 14日



## 振り返り

岡 聖史  
2022年 2月 21日

大手レストランやコンビニのメニューの良し悪しを一流料理人が判断する番組があります。企業側は値段と味と再現性のバランスで勝負をします。一流料理人から厳しい評価が下されることもあります。しかし、高く評価される商品は、商品の見た目以上に細かな品質管理と改良が繰り返しの行われているという事を知りました。現状に満足せずに最善を追求する事の大事さは、どの世界でも同じだと実感しました。会社の忍耐力・情熱こそが質の高い商品を生み出すのだと改めて感じました。



## ukoxzo CHANNEL

2か月前に高尾山へ出かけた際に撮影した動画です。体力的につらかったですが、非常に素晴らしい体験ができました。

← ← ← “中易さんぽ” はこちらからご視聴いただけます。



## 委員会活動報告 (法人危機管理部)

岡 聖史  
2022年 3月 8日

法人危機管理部は、総生会の5事業所から選出されたスタッフで構成される、横断型委員会です。活動内容は、災害班と救急班の2つの班に分かれて行われています。災害班は、災害時を想定した訓練や情報収集・道具等の準備を行い、様々な災害に直面しても対応できる体制を構築しています。過去に

は、消防署との合同で模擬患者をレスキューする訓練を実施しました。想定の話と実際の動きは異なる事を体験できました。

一方、救急班では法人内の心配蘇生技術研修、救急時の各種道具の整理・整備、研修動画をYoutubeにて限定配信、アンケート等活動を行っています。ロイヤルホームのように、高齢者施設では医師が常駐してい

る事は非常にまれです。その為、ご入居者様の急な様態の変化があっても適切に対応できる知識と技術が必要と考えます。また、迅速かつ適切な対応はロイヤルホームだけに限らず、リハビリ総合病院や麻生総合病院においても同様に求められます。その為の技術面の研修や知識の充填、道具の整備を危機管理部の活動を通じて行っています。勿論、災害も救急もない事が一番なのですが。